

福岡教育連盟 主催

平成29年度講師研修会

～教師としての「志」「使命感」「スキル」を高める～

採用試験合格を目指し、日々の教育活動に熱心に取り組む先生方を全力でサポートしたいという思いから講師研修会を開催しています。スキルや知識の習得はもとより、今後の教育を担う本物の教師としての「志」「使命感」を高め、人間力、教師力を磨くことを目的とした研修会です。

平成29年度の予定

※会場・時間・内容は現時点での予定です。

【全体会】

- 第1回 5月14日(日)【一次試験対策】
日本経済大学(太宰府市)
12:30受付 13:00開始 17:00閉会
教師としての資質・能力を高める
採用試験の心構え・集団討論・論文対策等
- 第2回 6月17日(土)【一次試験対策】
福岡リーセントホテル(福岡市東区箱崎)
13:30受付 14:00開始 18:00閉会
集団討論・教育講演会等 終了後情報交換会
- 第3回 7月29日(土)【二次試験対策】
福岡教育連盟本部(福岡県庁地下1階)
12:45受付 13:00開始 17:00閉会
個人面接・模擬授業・論文対策等・情報交換

第4回 8月12日(土)【二次試験対策】

大野城まどかぴあ(大野城市)
10:00受付 10:15開始 17:00閉会
個人面接・模擬授業・論文対策等

【地区別】【一次試験対策】

- 第1回5月26日(金) 第2回7月7日(金)
- 北九州:北九州パレス
福岡:大野城まどかぴあ
筑後:えーるピア久留米
筑豊:イイツカコミュニティセンター
18:30受付 19:00開始 21:00閉会
本番さながらの雰囲気での模擬集団討論を行います。
資料や討論の技術指導も充実しています。

講師研修会の様子

【講義】



教職経験者による志を高めるための実践と心構えの講義!

【模擬集団討論】



本番と同形式で集団討論を行い、現場教師が指導、解説!

【二次試験対策】



模擬授業、個人面接、小論文対策。本格的な個別指導!

その他①受験の手引き・過去問CD・アドバイス・毎回の課題解説も充実しています。

②HP・メルマガで研修会案内や必要な教育情報を定期的に発信します。

③出版物のお届けや他の研修会参加も正会員と同様です。

◎加入手続はネットで簡単にできます。(裏面参照) ※加入前に資料請求も可。

◎講師年間登録費5,000円+資料代(すべての研修会通して)1,000円が必要です。

(校務等で出席できなかった場合はその都度資料を送付します)

主催 福岡教育連盟(FENET) 〒812-0045 福岡市博多区東公園7-7 県庁舎地下1階

▼TEL:092-631-2901 ▼FAX:092-641-8370

▼e-mail: info@fenet.or.jp ▼URL:http://www.fenet.or.jp/

※加入手続、参加
申込については裏
面をご覧ください。



申込方法

講師登録及び講師研修会の参加申込は、ホームページを通じて行います。下記の手順に従って登録をお願いします。スマートフォンからでも申込可能です。ご不明な点がございましたら、福岡教育連盟本部までお問い合わせ下さい。

【新規登録の場合】※スマートフォンからも登録は可能です。

- ①「福岡教育連盟」のホームページにアクセスします。(http://www.fenet.or.jp/)
- ②HPトップページ右上の「お問い合わせ」(緑色)をクリック(スマホ版はトップページ下方のオレンジ色)。次の画面で「講師登録申込」をクリックし、登録画面に必要事項を入力し、送信します。(氏名・メールアドレス・電話番号・住所・勤務校・教科等)
- ③入力いただいたメールアドレスに、折り返し登録の手順をお送りいたします。
- ④登録完了後は、会員ページから簡単に講師研修会への参加申込が可能になります。

※メールアドレスはPCからの着信を拒否しないものを登録して下さい。

※校務用パソコン及び校務用メールアドレスは使用しないで下さい。

※事前に資料請求することもできます。HP「お問い合わせ」からお尋ね下さい。

【昨年度登録している場合(継続)】

- ①メールで継続の意思と(1)勤務校、(2)職名、(3)氏名と(4)変更点(住所、電話番号、メールアドレスなど)をお知らせ下さい。 info@fenet.or.jpまで
- ②折り返し新しいIDとパスワードをお知らせし、登録完了です。

**※講師年間登録費+資料代6,000円は、第1回講師研修会の受付にてお支払いください。
参加できない場合は振込にてお願いいたします。(詳細は入会時にご連絡いたします)**

(参考)昨年度の集団討論テーマ(一部抜粋)

○(福岡県の採用試験) 生徒指導提要では、不登校生徒の学校復帰や不登校の予防・開発的な対応という視点から、生徒・保護者と学校との関係構築や、すべての生徒が楽しく通えるような学校教育を目指す必要性について述べています。不登校を防ぐために、日ごろの教育活動の中でどのような取り組みが必要であるか討議しなさい。

●(連盟の研修会) 生徒指導上の問題の複雑化・多様化に伴い、いじめや不登校等の生徒指導上の課題等について、校内の他の職員と情報共有を徹底し、早期発見・早期対応をするための取組の強化を図ることが求められています。このことについて、教師として、あるいは学校としてどのような取組が必要か討議しなさい。

○(福岡県の採用試験) 福岡県では、学習指導において課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学習(アクティブ・ラーニング)を取り入れた授業を推進しています。生徒の主体的・協働的な学びを引き出すために、日頃の教育活動の中でどのような取組が必要か討議しなさい。

●(連盟の研修会) 子どもが多様な人々と協働しながら課題を解決したり、新しい価値を創造したりする力を育成するには、一方向・一斉型の授業だけではなく、子どもが主体的に自らの疑問について深く調べ発表したり、子ども同士で議論したりすることなどが重要であると言われていています。このことについて教師としてどのように取り組むか、討議しなさい。

○(福岡県の採用試験) 福岡県学校教育振興プランでは、子どもが自立的に成長するための原動力となる人格的資質を育成するため、「鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす」をコンセプトとした『鍛ほめ福岡メソッド』による教育実践を推進しています。このことを踏まえ、日頃の教育活動の中でどのような取組が必要か討議しなさい。

●(連盟の研修会) 福岡県では「鍛えよう!ほめよう!学校の教育力向上プロジェクト」の仕組みの1つとして、「指導者が振り返りの場を設定し、指導者または子ども同士が、その頑張りをほめる、認めるという活動」を重視しています。このことを踏まえ、学校の教育力向上のために、日頃の教育活動の中でどのような取組が必要か討議しなさい。

○(福岡県の採用試験) 福岡県教育大綱では、「ふくおか未来人財」に求められる3つの力の中の1つとして、「郷土と日本、そして世界を知る力」をあげています。この力の育成のために、日頃の教育活動でどのような取り組みが必要か討議しなさい。

●(連盟の研修会) 福岡県では「ふくおか未来人財」に求められる力の一つとして、「郷土と日本、そして世界を知る力」を挙げ、多様性を認め合いながら、様々な課題に柔軟に対応する力を身に付けることが必要としています。このような力を児童生徒に身に付けさせるために、日頃の教育活動の中でどのような取り組みが必要か討議しなさい。